専門教育科目 講義科目

授業科目名	健康・医療心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	小林　裕一郎	EB77	3・4	4

科目の概要

文明の高度化や人間関係の複雑化に対応できず、適応障害や精神疾患で心を病む人が増えている。医療従事者や周囲の者が、そのような人たちの異変に気づき早期に対処することが大切である。健常な人であっても、いつ心を病むか分からないのである。
本科目では、患者の心理や行動を理解し、効果的な医療を進めていくために必要な健康・医療心理学の基礎的な考え方を学ぶ。

科目の到達目標

①保健医療における患者の心理と行動に関する基本的概念や理論を理解し、医療現場における問題を適切に説明することができる。
②患者への対応に関する課題を患者の心理と行動に関する枠組みで考察でき、解決の方向性を見いだすことができる。

テキスト	『健康・医療心理学』宮脇 稔 他,医歯薬出版,2018年

テキストの読み方

①適切な医療活動を行うため、患者へのアセスメントや心理的支援の方法などについて、臨床現場に生かせる基礎的概念や理論を理解する。
②患者に対して適切に対処するため、患者が陥りやすい精神疾患やそのプロセスについて理解を深める。
③私たちは小児期から老年期に至るまで、さまざまな課題を抱えて生きている。それらの課題や対応方法について理解する。
④地球温暖化に伴う異常気象のため自然災害が多発している。それらの被災者に対し適切に対応するため、被災者の心理や行動を理解する。

単位修得の方法

①リポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、４単位を修得できる。
または、
②基本リポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、４単位を修得できる。この場合、応用リポートの提出は不要。